

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI簡易導入可能性調査

施設担当課

教育総務部生涯学習課

施設名称

安積総合学習センター

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2018年度

所在地

郡山市安積町荒井字南赤坂265番地

定量評価結果概要 (担当：行政マネジメント課)

【前提条件】
①「大規模改修」及び「建替」の2パターンについて、「従来型手法」と「PFI手法」の比較
②事業方式：「BT0 (Build Transfer Operate) 方式 (PFI法)」により計算
③事業期間：施設整備期間を「1年」及び「2年」の2パターン、維持管理運営期間15年
④収入項目：イコールフィッティングの観点から、「従来型手法」と「PFI手法」いずれもゼロ円で計算 (補助金・交付金・起債)
⑤簡易計算：国土交通省「VFM簡易計算ソフト」により算出
【VFM】大規模改修：施設整備期間が1年の場合14.1%、2年の場合13.8%
建替：20.3%

定性評価結果概要 (担当：施設所管課)

PPP/PFI手法の導入は、プロセスの透明性・公平性、市の業務量の面での有効性が高いものの、従来工法と比較し、スケジュールについて大きな差がある。緊急性の高い改修が必要な状況であることから、PFI手法による改修は、時間的猶予が乏しい状況にある。

総合的な評価結果 (担当：施設所管課)

本施設は、1 地域コミュニティの核となる施設、2 健康寿命の延伸のための運動施設、3 気候変動に対応した防災施設としての機能を併せ持つ重要な施設であるが、今回の改修は、屋根や外壁等の施設機能の一部改善を主目的としており、現時点においてはPFI手法による整備は時間的猶予が乏しい状況にある。将来的なPFI導入については、引き続き検討を継続するが、総合的に検討した結果、現時点でのPFI導入には優位性が見込めないと判断する。

次の検討段階

従来工法による事業化検討を実施する (施設健全度調査及び長寿命化計画策定の予算化を行う)

備考

1 VFMの計算時、利率・SPCや資金調達費用・税率等については、過去のPFI案件平均を採用